

長崎市景観まちづくり刷新支援事業について

長崎市景観まちづくり刷新支援事業 全体計画



①夜間景観の整備

内容：施設のライトアップ、街路灯の改良等



③④稲佐山登山道の街路灯・案内サイン整備

内容：質の高い街路灯・サインを整備



⑨銅座地区の路地整備

内容：舗装の美化等



⑥平和公園・天主公園の整備

内容：園路舗装、手摺設置、トイレ整備、サイン等



⑦⑧平和公園周辺の回遊路整備

内容：歩道の整備等



⑬⑭中島川界隈の回遊路整備

内容：車道の美装化、歩道の整備等



⑮寺町の回遊路整備

内容：車道の美装化



⑫南山手地区の環境整備

内容：南山手地区洋館群への眺望スポット整備等



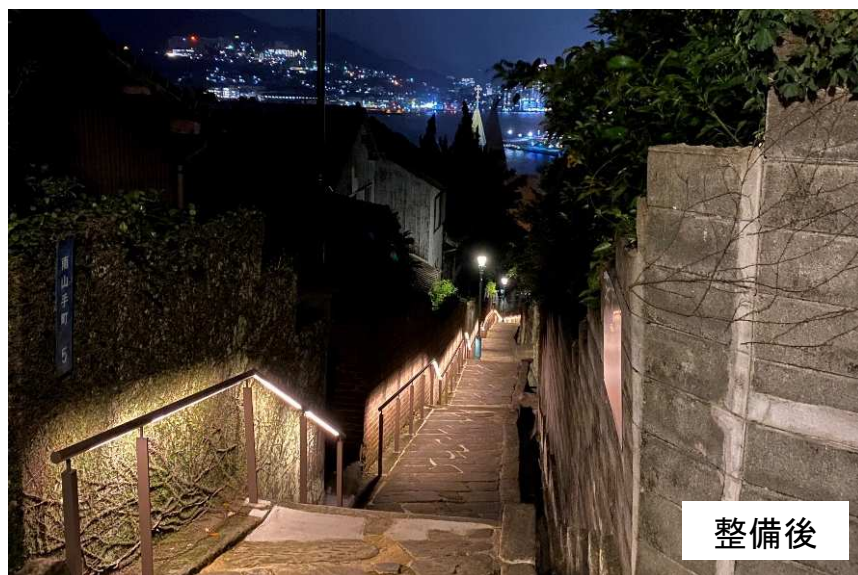
②鍋冠山への遊歩道整備

内容：舗装の美化化、手摺の設置、側溝改良等



夜間景観整備事業

- 世界新三大夜景都市である長崎夜景の更なる魅力向上
- 夜間照明や街路灯の整備による夜間景観の刷新
- 滞在型観光の増大による観光客の宿泊増加のねらい
- 視点場からの「遠景の夜景みがき」、観光資源のライトアップと周遊ルート of 街路灯の整備による「中・近景の夜間景観づくり」の面からアプローチ



整備後



整備前

南山手地区・祈念坂の
街路照明の整備：
街路灯の改修、手摺照
明の新設



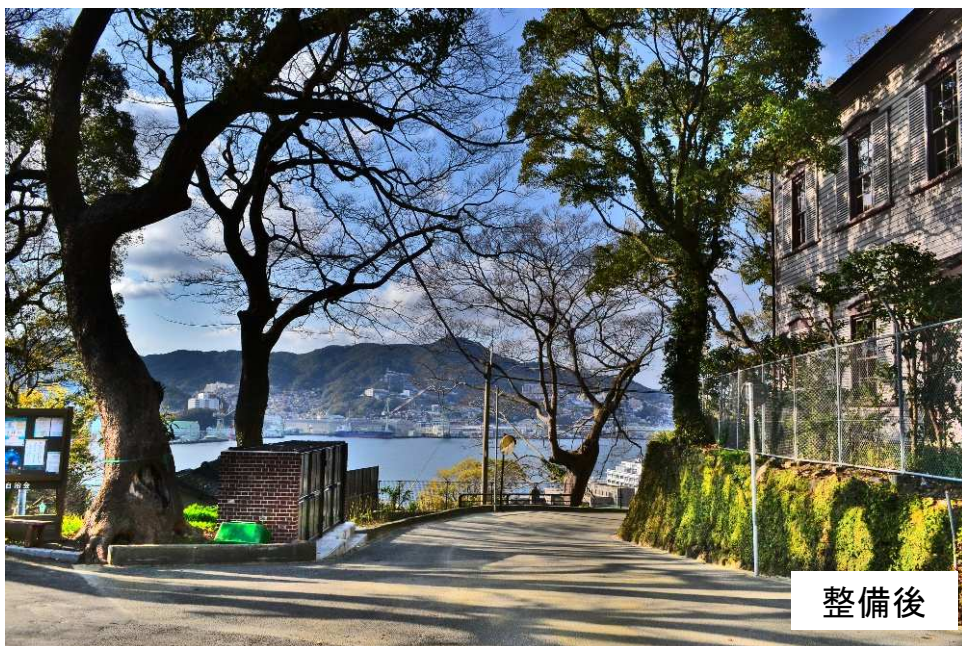
国宝・大浦天主堂のライトアップ設備の整備後に
実施した夜間まち歩きイベントの様子

まちなかの景観の刷新

○世界遺産都市※にふさわしい周遊ルートの向上

※「明治日本の産業革命遺産」と「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産を有する

○舗装の美装化、広場の整備など



長崎港を一望できる
視点場の整備
(プロムナード、
ポケットパーク)



ポケットパークの照明設備も合わせて整備

目的

- ・伝統的建造物の修理や修景による歴史的資産の存続と町並み景観の向上
- ・公開施設(伝統的建造物)の耐震補強による施設利用者の安全性向上と観光資源の維持

事業実施内容

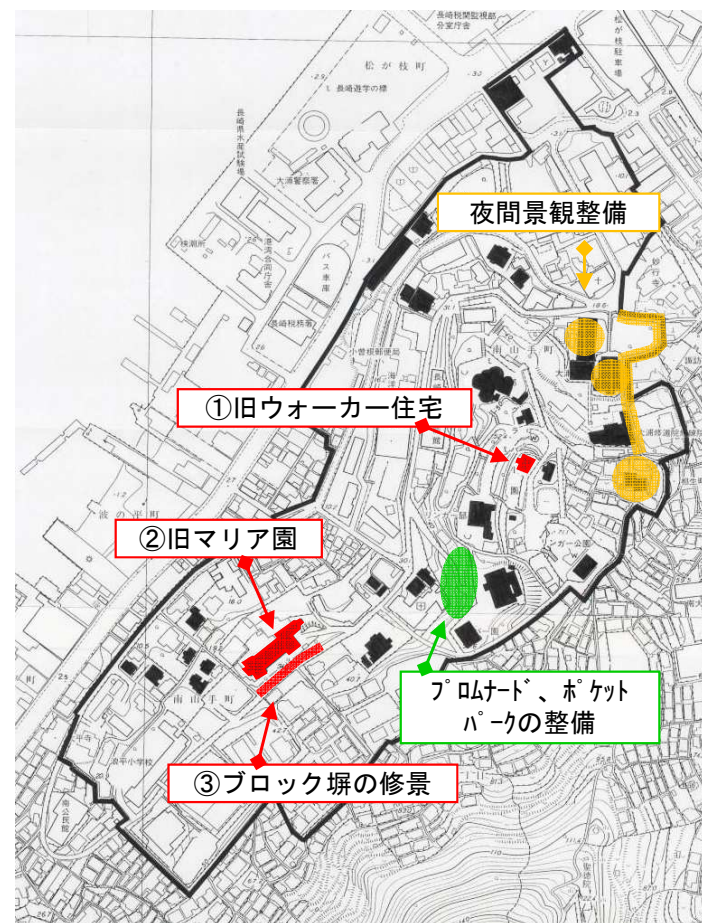
- ①旧ウォーカー住宅耐震対策事業(H30)
- ②旧マリア園 耐震診断・耐震補強設計(H30・R1)、外壁修理工事(R1)
- ③ブロック塀の修景(R2) ※R1の繰越

景観まちづくり刷新支援事業との共通の成果

- ・資産の磨き上げ(伝統的建造物の修理、ライトアップなど)
- ・周遊ルート的美観向上(街路の照明整備、舗装の美装化・広場整備、ブロック塀の修景)

⇒観光客の周遊性向上・観光客の宿泊数増加

⇒まち歩き観光の推進による観光客の満足度向上
滞在時間の延長による観光消費額の増大



南山手地区内での主な事業

※重要伝統的建造物群保存地区
東山手・南山手の2地区のうち、
観光拠点形成重点支援事業を
実施した南山手地区を主に扱う

旧ウォーカー住宅 事業概要

伝統的建造物・旧ウォーカー住宅の保存修理・耐震補強工事(H30年度、28,516千円)

明治中期の木造洋風住宅。長崎市有数の観光施設・グラバー園の中の公開施設(展示施設)で、不特定多数の観光客の出入りがある。



旧マリア園 事業概要

伝統的建造物・旧マリア園の耐震診断・耐震補強設計(H30・R1年度、33,429千円)、外壁修理工事※(R1年度、29,993千円)

※煉瓦表面補修、吸湿防止剤の塗布、外壁表面の附属設備の撤去など

明治31年(1898)建築。煉瓦造3階建。耐震補強工事後、ホテル開業が予定されている。



施工前



施工後

ブロック塀の修景 事業概要

旧マリア園敷地外構のブロック塀の修景（R2年度、6,000千円）

※R1年度の補助金を繰り越して実施

街路に面したコンクリートブロック塀を、過去の写真資料に基づき煉瓦塀風の鉄筋コンクリート塀に修景し、回遊路の景観向上を図る
（伝統的建造物の耐震補強工事ほかの都合により、一部を先行して実施）

長崎市観光拠点形成重点支援事業における成果(KPIとその達成状況)

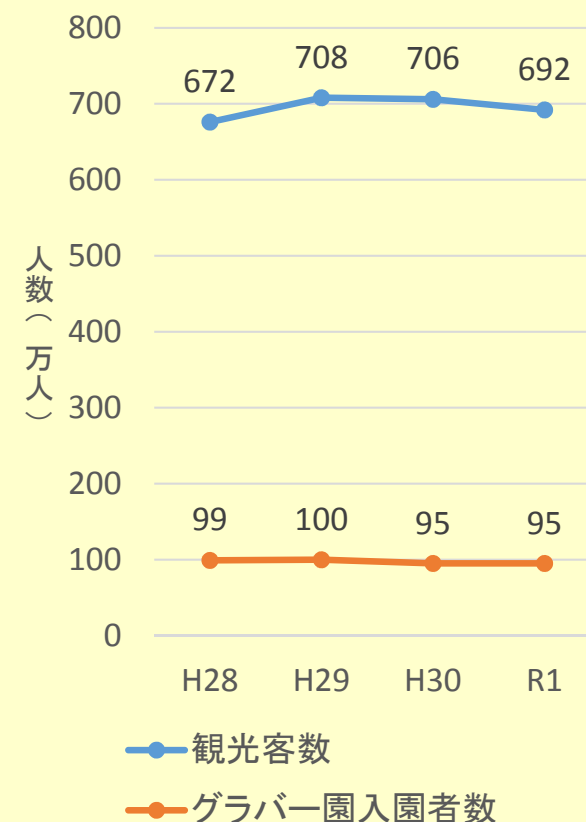
事業開始時のKPI

目標区分	観光関係産業の活性化
評価指標区分	観光客数
具体的な指数	長崎市への観光客入込数
目標値	平成28年 672万人 → 令和元年 695万人

○達成状況：令和元年 **692万人**
ただしH29・H30年は目標値達成
(H30は世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録)
R1年は、H29・H30年に次ぎ過去3番目に多い

○その他の成果

- ・宿泊客数 前年比1.5%増
- ・観光消費額は過去2番目(H30年に次ぐ)
過去2番目に多い集客を記録したランタンフェスティバル、夜間景観整備事業など宿泊型観光へのアプローチなどによって、宿泊客数の増加により観光消費額が増加したと思われる
- ・グラバー園入園者数 90万人以上を維持



旧グラバー住宅の保存整備事業



展示をリニューアルし、R3年12月から供用開始予定。

世界文化遺産の構成資産でもある国指定重要文化財の旧グラバー住宅の保存修理・耐震補強工事を実施する(H30年度からR3年度まで)。

工事中も、仮設デッキから工事の様子の一部を見学できる。

大浦天主堂の美装化事業



世界文化遺産の構成資産でもある国宝の大浦天主堂について、外部漆喰の左官修理などの美装化事業を実施した(H29年度からH30年度まで)。

長崎居留地まつり



市民が企画を持ち寄り、伝統的建造物などを活用したイベントが開催される。ウォークラリーなど、域内の周遊性を高めるイベントも実施される。

ばらチャレンジ事業



伝統的建造物を活用した公開施設の庭園や、街路に面した公共空間へ植栽したばらについて剪定・施肥を行い、町並みの美観及び回遊性の向上を図る。

歴史的風致維持向上計画の認定と 長崎居留地歴史まちづくり協議会の発足

歴史的風致維持向上計画の国認定を受け、伝統的建造物群保存地区を内包する東山手・南山手重点区域において、地域主体の「長崎居留地歴史まちづくり協議会」と行政が一体となって、将来のまちの姿やまちづくりの方針等を示した「歴史まちづくり計画(グランドデザイン)」を策定中。

今後は、実施計画(アクションプラン)を策定し、歴史的建造物などの活用や景観の向上、建物用途等の規制緩和、地域課題などを協議予定。



長崎居留地歴史まちづくり開催の様子。これまで、協議に加えてワークショップやフィールドワークなどを実施した。

○主なスケジュール○

歴史的風致維持向上計画の認定
(R2.3)



長崎居留地歴史まちづくり協議会
の発足(R2.8)



長崎居留地歴史まちづくり計画
(グランドデザイン)策定



実施計画(アクションプラン)の策定

建物用途等の規制緩和手続き



具体的な事業・取組みの実施

今後の主な課題

長崎居留地歴史まちづくり協議会で出た主な課題。市民(地域住民など)と行政が協働し解決していく

歴史的建造物の保存と活用



所有者の高齢化や管理
費用の増、公金の財源
確保の困難などによる
保存・維持の難化



公開施設の活用方法や
情報発信方法を見直し、
利用者のニーズに
適合した施設運営が
求められる

町並みの保全・向上



- ・電線が町並みの美観を損ねている
- ・樹木が繁茂している
- ・景観スポットとして顕在化されうる場所がある

賑わいの創出



- ・空き店舗の増加、来訪者のニーズに合った消費・交流ができる店舗や施設の不足
- ・適切な案内板や情報発信などの不足

様々な主体による新たな活動の推進



新たな事業者や域内外の市民、地元の学生などの活動を促進し、斬新で洗練された事業や取組みを推進することが求められる

今後の展開 ～予定されている主な事業～

旧杠葉本館・旧杠葉氏宅の保存修理・耐震対策事業



伝統的建造物の本館(右・洋館)と氏宅(左・和風住宅)について、保存修理・耐震補強工事や敷地整備などを行う。事業完了後は、このエリアにふさわしい機能を持った公開施設として供用予定。活用方法は、地域や事業者などの意見を取り入れつつ検討していく。

南山手乙27番館 保存整備事業・広場整備事業



現在、公開施設として供用している伝統的建造物について、保存修理やベイウィンドウの復元、敷地整備(眺望を活かした展望広場の整備ほか)等を行う。

グラバー園内の重要文化財・伝統的建造物の保存修理・耐震対策事業



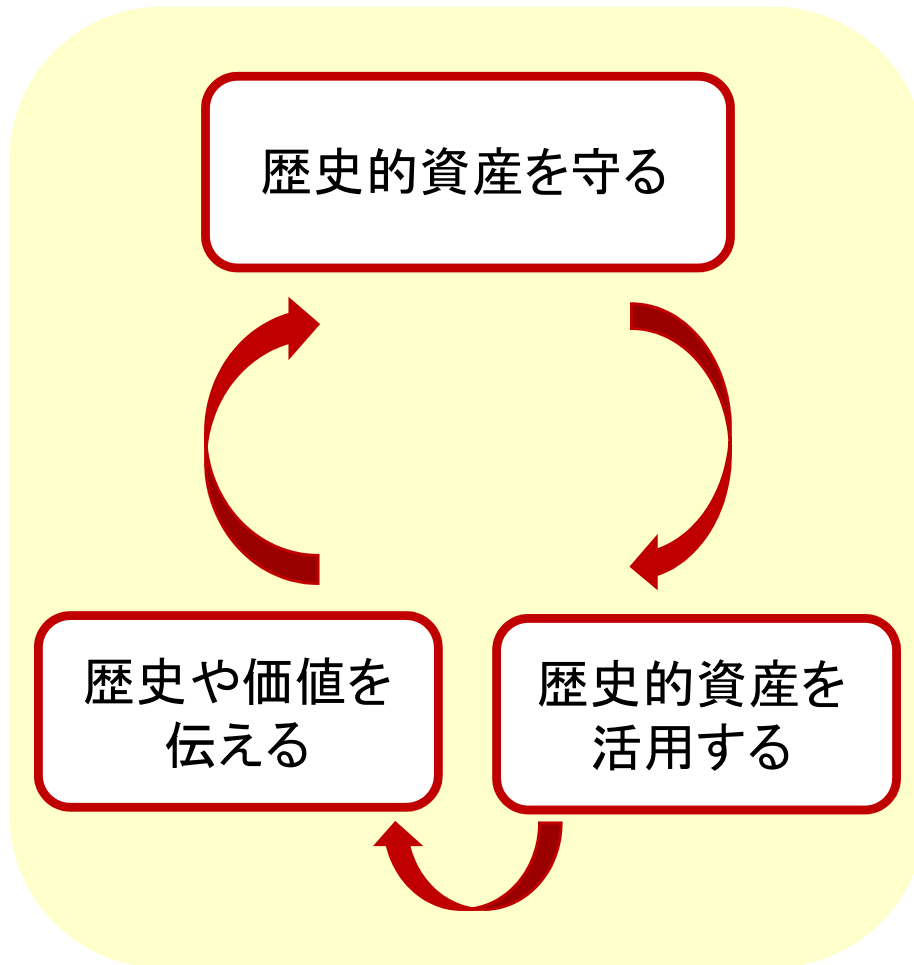
長崎市内有数の観光施設であるグラバー園内の重要文化財(旧オルト住宅、旧リンガー住宅)、及び伝統的建造物の保存修理・耐震補強工事を順次実施。建造物を保存するとともに、不特定多数の利用者の安全を確保する。

松が枝地区の整備事業

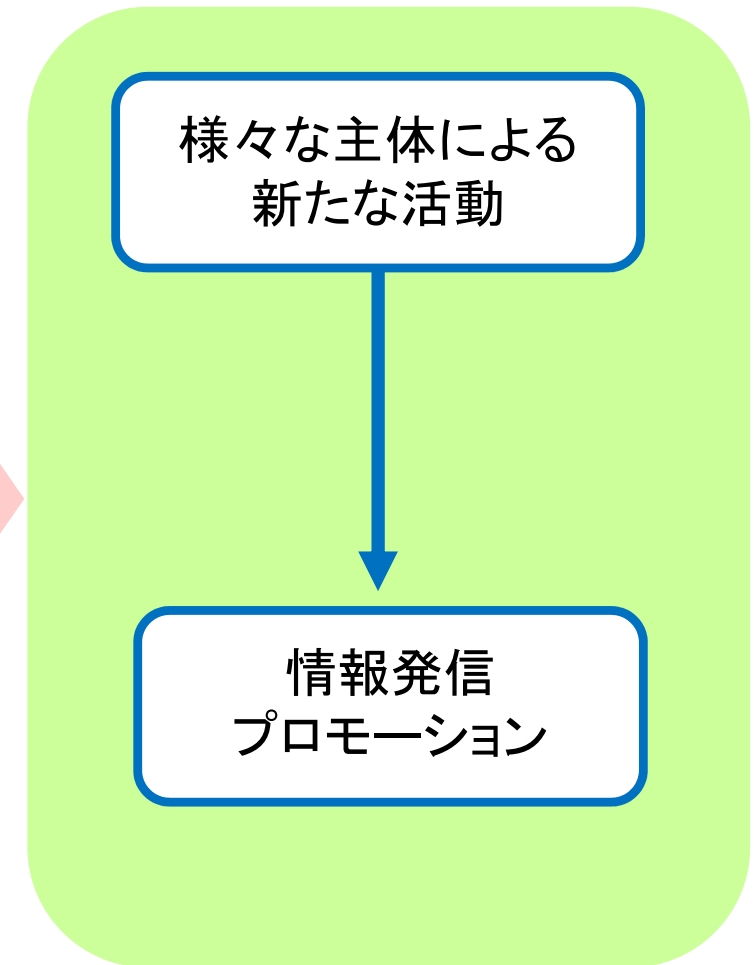


南山手伝統的建造物群保存地区に近接している松が枝地区において、近年のクルーズ需要の増加、クルーズ船の大型化に対応するため、岸壁を延伸する2バース化事業を実施しており、ターミナル機能や都市空間の形成など、「みなとづくり」と「まちづくり」を一体的に進める。

歴史的資産の保存・活用



活動の促進と共有



相互に連携

- ・歴史的資産を保存するとともに、魅力的な活用やその価値の発信をする
- ・南山手伝統的建造物群保存地区などでの新たな活動を促進する

⇒歴史的建造物などを活用した、長崎市ならではの体験を提供